

＜参考＞現時点で日本で入手できる豚サーコウイルス2型ワクチン

メーカー	ベーリンガー インゲルハイムベトベチディカ ジャパン株式会社	株式会社インターベツト	メリアル・ジャパン株式会社 (販売 日本全薬工業株式会社)
名称	インゲルベック サーコフレックス	ポーシリスPCV	サーコバック
生/不活化	不活化	不活化	不活化
接種対象	3週齢～5週齢の子豚	3週齢～9週齢の子豚(ただし、感染が早期の場合や移行抗体がばらつく場合には3日齢以降の子豚に3週間隔で2回接種)	産歴のある妊娠豚(淘汰が予定される最終分娩時およびその前の分娩時の妊娠豚を除く)
接種量/回数	1ml/頭 1回	2ml/頭 1回 (ただし場合によっては2回接種も可能)	2ml/頭 初回は分娩前に2回、以降は分娩前1回

(日清丸紅飼料(株)検査センタートピックスNo.80946より)

※ワクチンは生産性向上を図る道具のひとつです。

快適な飼養環境があってこそ、ワクチンの有効性が発揮されます。
出来ることから少しずつ継続して飼育環境を見直し、管理獣医師とよく相談して農場にあったものを選択しましょう！！